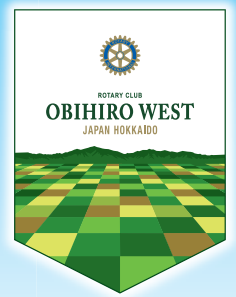




Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ 第1983回例会 2013.2.4 会報



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

帯広5ロータリークラブ・芽室ロータリークラブ・音更ロータリークラブ 合同例会

ゲスト紹介

筑波大学大学院名誉教授
国際アジア共同体学会会長 進藤榮一様

講演プログラム

演題 新展開する世界と日本の針路
— 「アジア力の世紀」をどう生き抜くか—

講師 進藤 榮一様 略歴

1939年帯広生まれ、帯広柏葉から京大法学部を経て同大学院博士課程卒。フルブライト留学にてジョンスホプキンス大学院などで学び、筑波大学教授、ハーバード大などの上級研究員を勤め、世界の有名大学で客員教授なども歴任、その間「吉田 茂 賞」受賞。国際アジア共同体学会会長、国連DEVNET上級顧問などの公職にも就任され国内外で活躍し、著書「アメリカ・黄昏の帝国」ほか多数、翻訳「国際関係と正義」ほか編纂、編集も手掛けられています。



会長報告

帯広南RC
小柴会長



会務報告

帯広南RC
花房幹事



講師紹介

帯広南RC 田所国際奉仕理事
帯広南RC 高田国際奉仕委員長



会 長 川田 章博
幹 事 大友 広明

副会長 岡田 武穂
副会長 古田 敦則

会場監督理事 上垣香世子
プログラム委員会理事 河西 智子

発行：広報委員会
委員長 鈴木 享 (副) 本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



筑波大学大学院名誉教授／国際アジア共同体学会会長

進藤 栄一様 講演

◆プログラム

講演のねらい

2013年、今世界はどんな新展開をみせているのか。アベノミクスの持つ意味を1929年恐慌後と比較しながら、米、中、欧、露の新動向を俯瞰し「アジアカの世紀」で生きる日本と北海道の針路を明らかにする。

1 アベノミクスをどうとらえるのか——その光と影

1930年代と2010年代。「平成の高橋リフレ政策」というもう一つの見方。

列島強靱化論と国防軍創設のリスク。

2 米、中の動向と日米基軸論の限界——尖閣以後

シェールガス革命のインパクト。日米関係を超越する米中関係。

T P P交渉参加論の落とし穴。サクセス・ストーリー（成功体験）の呪縛。

3 「アジアカの世紀」の到来——「アセアン+3」以後

「2050年の世界」の衝撃。変わる産業構造。

「メイド・イン・ジャパン」の終焉。進展するアジア地域統合。

4 北海道十勝経済の進むべき道——地域の魅力度へ

サステナビリティ・ゲームと成長戦略。六次産業としての農業・環境・エネルギー産業。

日露関係とサハリン・ガス開発。農業大国に文化を取り組む。



新展開する世界と日本の針路

「アジアカの世紀」をどう生き抜くか